平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月10日

上場会社名　チタン工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4098　URL　http://www.titankogyo.co.jp
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 松川　正典
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長　(氏名) 重永　俊雄　TEL 0836-31-4155

四半期報告書提出予定日　平成23年8月12日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	1,832	22.5	285	178.4	280	211.3	279	242.5
23年3月期第1四半期	1,495	44.3	102	―	90	―	81	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	9.28	―
23年3月期第1四半期	2.71	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	9,371	4,366	46.6
23年3月期	8,885	4,165	46.9

(参考) 自己資本　24年3月期第1四半期　4,366百万円　23年3月期　4,165百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	0.00	―	2.00	2.00
24年3月期	―				
24年3月期(予想)		0.00	―	3.00	3.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,400	15.8	390	143.7	370	183.3	360	244.9	11.95
通期	6,800	14.6	590	33.7	550	40.9	460	41.7	15.27

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
業績予想の修正については、本日(平成23年8月10日)公表いたしました「第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	30,276,266 株	23年3月期	30,276,266 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	156,735 株	23年3月期	156,535 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	30,119,631 株	23年3月期1Q	30,125,436 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1．当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・・

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

当第１四半期におけるわが国の経済は、平成23年３月11日に発生した東日本大震災の影響により、生産や輸出が減少いたしますとともに、原子力発電所の事故に伴う電力供給懸念など、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもとで、当社は、新規事業の規模拡大及び新製品の拡販に全力を傾注し、持続的な成長の実現に向けて懸命に取り組んでまいりました。

その結果、新規事業として取り組んでおりますチタン酸リチウムの出荷開始や超微粒子酸化チタン及びトナー向け酸化鉄の新製品の出荷数量の増加などの成果により、当第１四半期の売上高は、前年同期実績を大幅に上回る1,832百万円（前年同期実績比　22.5%増）となりました。一方、損益面につきましては、売上高の増加及び設備稼働率の上昇などにより、営業利益は285百万円（前年同期実績比 178.4%増)、経常利益は280百万円(前年同期実績比　211.3%増)、四半期純利益は279百万円(前年同期実績比　242.5%増)となりました。

なお、当社は、電子製品向け部材を新規事業分野と位置づけ、新製品の開発に取り組み、従来にない特徴を有するチタン酸リチウムの開発に成功いたしました。

チタン酸リチウムは電気自動車や高性能電力貯蔵用のリチウムイオン２次電池の部材として、将来の大きな成長が見込まれますので、新規事業として平成22年10月にチタン酸リチウムの新工場を竣工し、平成23年２月から本格的な出荷を開始しております。

今後、新工場の生産能力を超える需要が見込まれますので、新規事業を強化、拡大するため、現在、当該設備の増設に着手しており、平成24年２月に増設工場の竣工を予定しております。

セグメント別の概況は、次のとおりであります。

（酸化チタン）

高付加価値品の超微粒子酸化チタンは、新規採用などにより出荷数量が大幅に増加いたしました。また、新規事業として新工場を建設したチタン酸リチウムにつきましても本格的な出荷を開始し、出荷数量が順調に増加いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は1,246百万円（前年同期実績比　32.0%増）となり、営業利益は220百万円（前年同期実績比　185.1%増）となりました。

（酸　化　鉄）

酸化鉄につきましては、トナー向け新製品の出荷数量が大幅に増加いたしました。また、塗料向けやトナー向けの既存製品につきましても堅調に推移いたしました。

以上の結果、当セグメントの売上高は563百万円（前年同期実績比　5.4%増）となり、営業利益は57百万円（前年同期実績比　206.2%増）となりました。

（２）財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

資産につきましては、原材料及び貯蔵品、有形固定資産、投資有価証券の減少があったものの、現金及び預金、受取手形及び売掛金の増加などから、当第１四半期会計期間末9,371百万円と前事業年度末と比べて486百万円増加いたしました。

負債につきましては、賞与引当金、長期借入金、退職給付引当金の減少などがあったものの、支払手形及び買掛金、その他の固定負債の増加などから、当第１四半期会計期間末5,004百万円と前事業年度末に比べて284百万円増加いたしました。

純資産につきましては、その他有価証券評価差額金の減少があったものの、四半期純利益の計上などから、当第１四半期会計期間末4,366百万円と前事業年度末に比べて201百万円増加いたしました。

（３）業績予想に関する定性的情報

平成24年３月期第２四半期累計期間の業績予想につきましては、第１四半期の業績を踏まえ、売上高、利益とも当初発表予想を上回る見込みとなりましたので、修正いたします。

詳細につきましては、本日（平成23年８月10日）公表の「第２四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想につきましては、第２四半期累計期間の決算発表時に見直しを行う予定であり、今回は修正いたしておりません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

３．四半期財務諸表等

（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成23年６月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	623	674
受取手形及び売掛金	1,435	1,957
商品及び製品	1,095	1,111
仕掛品	366	393
原材料及び貯蔵品	379	346
その他	42	34
流動資産合計	3,942	4,517
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,303	1,282
機械及び装置（純額）	2,301	2,247
その他（純額）	451	467
有形固定資産合計	4,056	3,997
無形固定資産	2	2
投資その他の資産		
投資有価証券	527	497
その他	368	368
貸倒引当金	△11	△11
投資その他の資産合計	884	854
固定資産合計	4,943	4,854
資産合計	8,885	9,371
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	628	694
短期借入金	950	950
1年内返済予定の長期借入金	395	403
未払法人税等	13	5
賞与引当金	57	23
その他	287	390
流動負債合計	2,332	2,466
固定負債		
長期借入金	1,300	1,246
退職給付引当金	983	946
資産除去債務	3	3
その他	100	341
固定負債合計	2,386	2,537
負債合計	4,719	5,004

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第１四半期会計期間 （平成23年６月30日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,443	3,443
資本剰余金	292	292
利益剰余金	324	543
自己株式	△28	△28
株主資本合計	4,032	4,251
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	133	115
評価・換算差額等合計	133	115
純資産合計	4,165	4,366
負債純資産合計	8,885	9,371

（２）四半期損益計算書
（第１四半期累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年６月30日）	当第１四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年６月30日）
売上高	1,495	1,832
売上原価	1,198	1,343
売上総利益	296	488
販売費及び一般管理費	194	203
営業利益	102	285
営業外収益		
受取利息	1	0
受取配当金	3	6
その他	6	8
営業外収益合計	11	15
営業外費用		
支払利息	14	14
その他	9	5
営業外費用合計	24	20
経常利益	90	280
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	7	－
特別損失合計	7	－
税引前四半期純利益	82	280
法人税、住民税及び事業税	1	1
法人税等合計	1	1
四半期純利益	81	279

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）セグメント情報等
前第１四半期累計期間（自 平成22年４月１日 至 平成22年６月30日）
①　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額	四半期損益計算書計上額（注２）
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	943	535	1,478	16	1,495	―	1,495
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―	―
計	943	535	1,478	16	1,495	―	1,495
セグメント利益（営業利益）	77	18	96	6	102	―	102

（注）１ 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。
２ セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

②　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

当第１四半期累計期間（自 平成23年４月１日 至 平成23年６月30日）
①　報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他（注１）	合計	調整額	四半期損益計算書計上額（注２）
	酸化チタン	酸化鉄	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,246	563	1,810	22	1,832	―	1,832
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	―	―	―	―	―	―
計	1,246	563	1,810	22	1,832	―	1,832
セグメント利益（営業利益）	220	57	278	7	285	―	285

（注）１ 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、副産物等の販売を含んでおります。
２ セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

②　報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

以上